



じゅうろく外為WEBサービス  
操作マニュアル

# ブラウザ設定編

平成 24 年 1 月 改訂版

株式会社 十六銀行

# 目次

1 はじめに.....	1
1.1 インターネットブラウザの設定について.....	1
1.2 設定必要箇所.....	1
2 ポップアップブロック.....	2
2.1 ポップアップブロックの設定.....	3
3 信頼済みサイト.....	5
3.1 信頼済みサイトの設定.....	7
 警告ダイアログが表示されないようにするには？.....	11
4 保護モード.....	12
4.1 保護モードの設定.....	13
5 EV SSL 証明書.....	15
 EV SSL 証明書とは？.....	15
5.1 事前設定(Windows XP のみ).....	17
5.2 EV SSL 証明書の設定.....	20
5.2.1 IE 7 の場合.....	20
5.2.2 IE 8 の場合.....	22

## 1

## はじめに

## 1.1 インターネットブラウザの設定について

じゅうろく外為WEBサービスを利用するにあたり、インターネットブラウザに設定作業が必要となる場合があります。

ご利用できるインターネットブラウザの詳細については、➡📖はじめにお読みくださいを参照してください。



## ヒント

- ・ Internet Explorer 6 をご利用の場合、インターネットブラウザの設定は不要です。

## 1.2 設定必要箇所

ユーザーおよびご利用環境により、設定が必要な箇所が異なります。以下の表を参照し、インターネットブラウザに必要な設定をすべて行ってください。

○: 設定必要

△: オプションメニューご利用のお客様において一部設定が必要

—: 設定不要

OS	インターネット ブラウザ ※	ポップアップ ブロック (➡2 参照)	信頼済み サイト (➡3 参照)	保護モード (➡4 参照)	EV SSL 証明書		
					事前設定 (➡5.1 参照)	IE 7 の設定 (➡521 参照)	IE 8 の設定 (➡522 参照)
Windows XP	IE 7	△	○	—	○	○	—
	IE 8	△	○	—	○	—	○
Windows Vista	IE 7	△	○	○	—	○	—
	IE 8	△	○	○	—	—	○
Windows 7	IE 8	△	△	△	△	△	△

※インターネットブラウザは、Internet Explorer (以降、IE と表記) を使用します。

## 2

## ポップアップブロック

ポップアップブロックの機能※により正常に画面が表示されないことがあります。

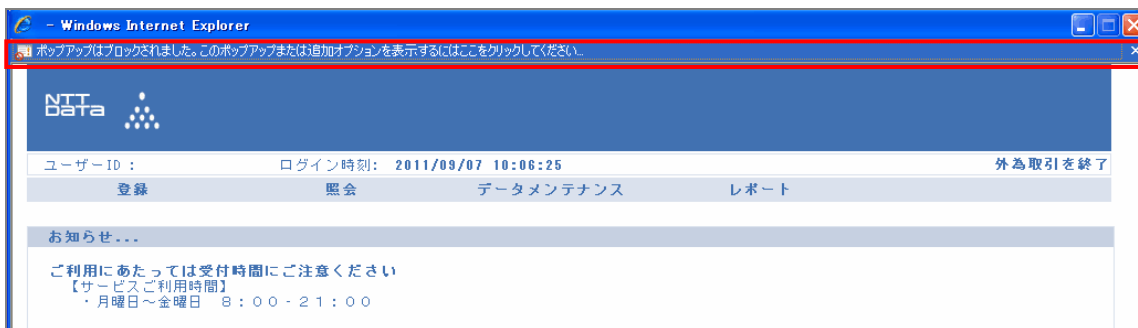
正常に画面を表示するためには、インターネットブラウザのポップアップブロックの設定において、じゅうろく外為WEBサービスの URL を「許可する Web サイトのアドレス」に追加する必要があります。

※ポップアップ広告を遮断して表示させない機能のことです。



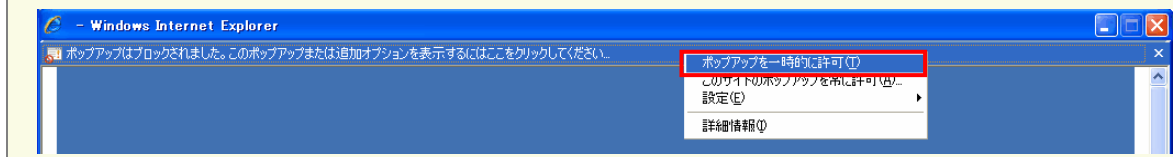
## 設定しないとどうなるの？

ポップアップブロックの設定を行わない場合、ポップアップがブロックされた旨のメッセージが表示されます。



## ヒント

- ・ポップアップブロックの設定を行わなくても、下記の通り「ポップアップを一時的に許可」を選択することにより、画面を表示することができます。



## 2.1 ポップアップブロックの設定

ポップアップブロックの設定を行います。

### 👉 設定しよう

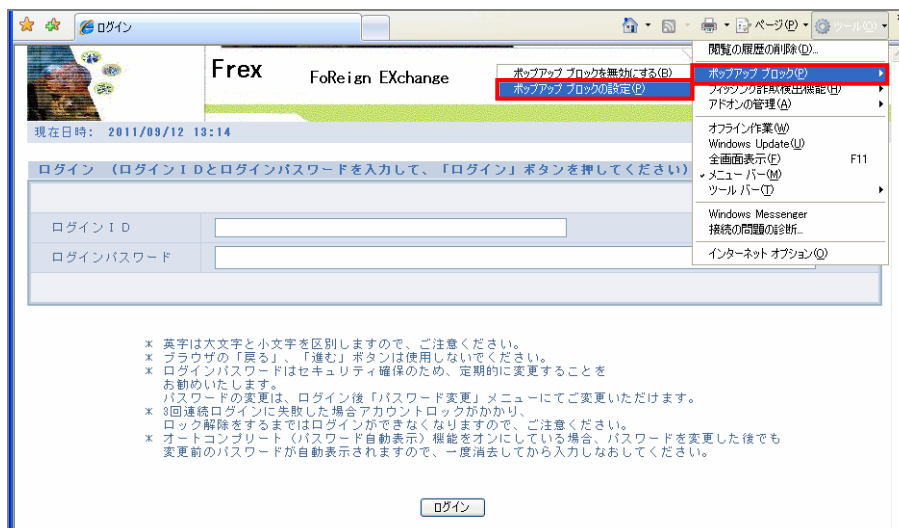
#### 1 メニューの選択

(1) インターネットブラウザを開き、右上の[ツール]をクリックします。



➔ 配下のメニューが表示されます。

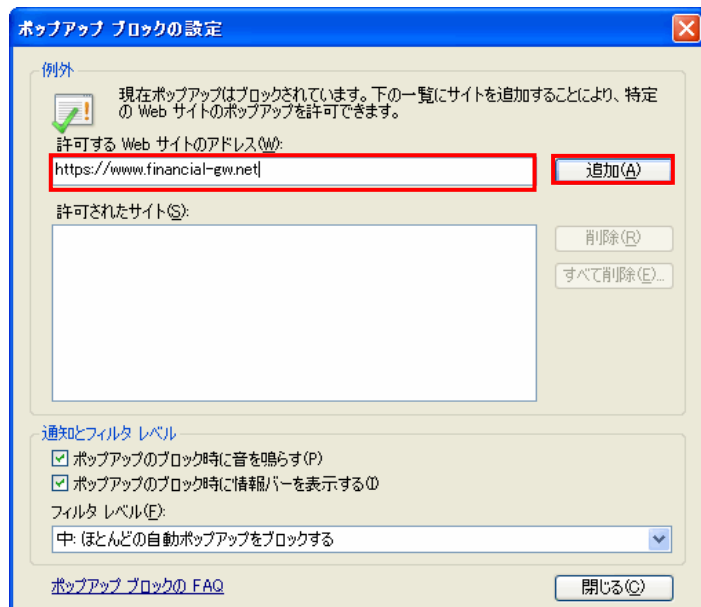
(2) 「ポップアップブロック」→「ポップアップブロックの設定」を選択します。



➔ ポップアップブロックの設定ダイアログが表示されます。

## 2 許可する Web サイトの追加

「許可する Web サイトのアドレス」にじゅうろく外為WEBサービスの URL を入力し、[追加]をクリックします。



→ 「許可されたサイト」に URL が表示されます。

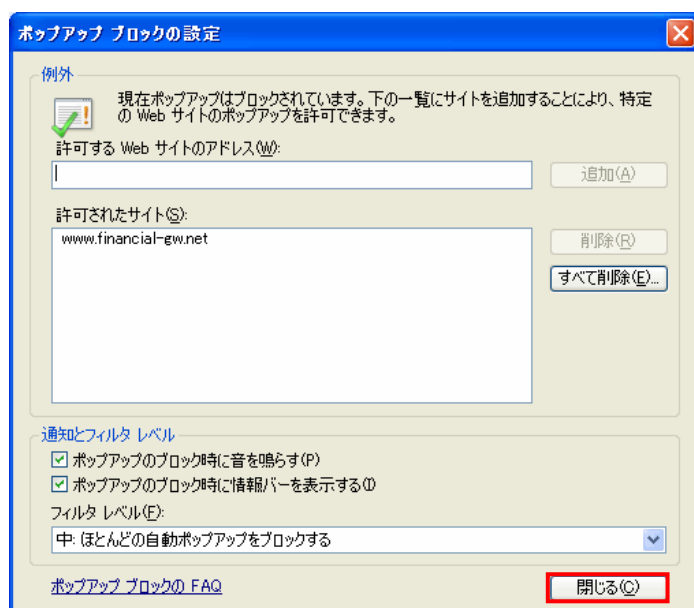


### ヒント

- ・ じゅうろく外為WEBサービスの URL は以下のとおりです。  
「<https://www.financial-gw.net>」

## 3 設定の終了

[閉じる]をクリックします。



→ ポップアップブロックの設定ダイアログが閉じます。  
以上でポップアップブロックの設定は完了です。

## 3

## 信頼済みサイト

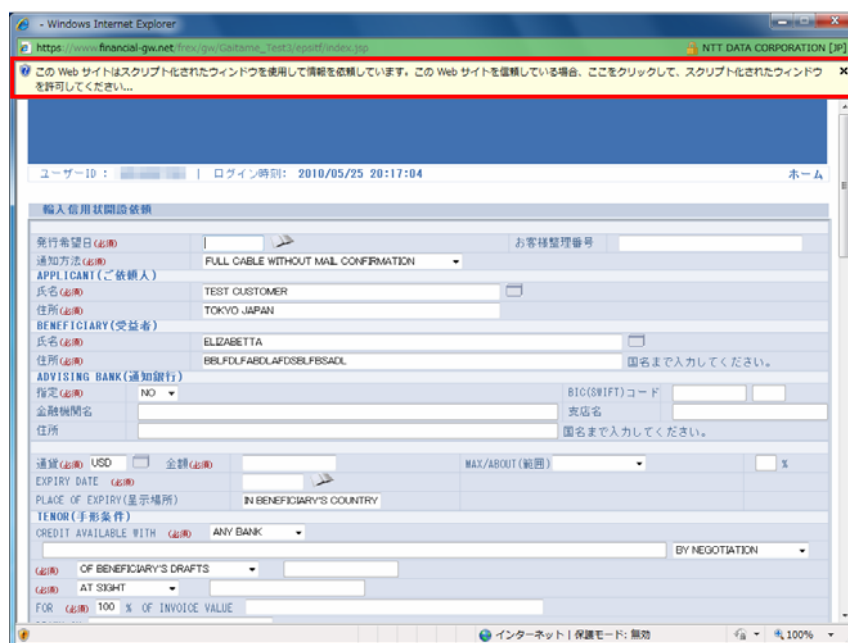
入力画面で操作ボタンをクリックすると許可を促すメッセージが表示されたり、入力した値に誤りがあったときに通常表示されるエラーメッセージが表示されないことがあります。

正常に表示させるためには、インターネットブラウザのインターネットオプションにあるセキュリティ設定において、じゅうろく外為WEBサービスの URL を「信頼済みサイト」に登録する必要があります。

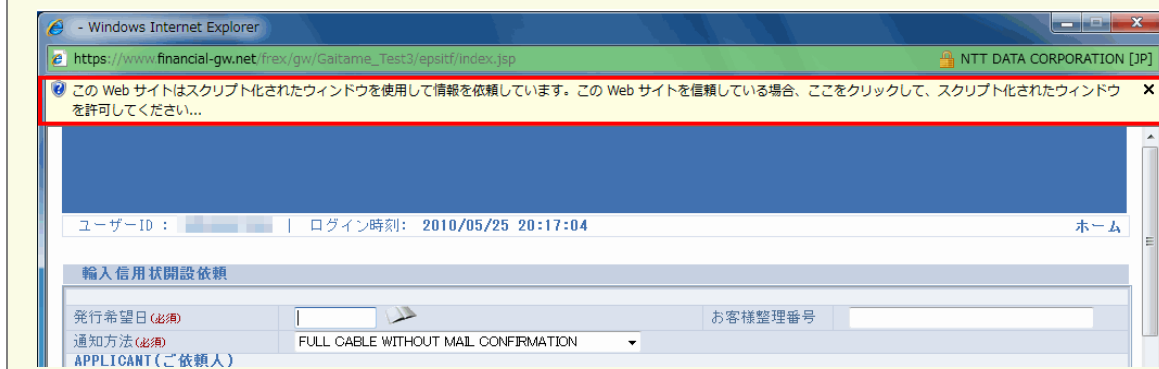


## 設定しないとどうなるの？

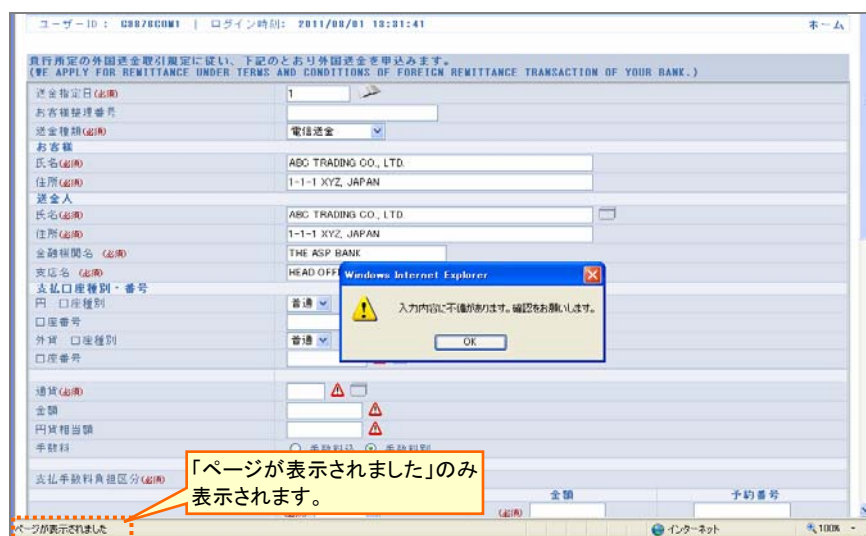
信頼済みサイトへの設定を行わない場合、許可を促すメッセージが表示されます。


**ヒント**

- ・ 信頼済みサイトへの設定を行わなくても、下記のメッセージをクリックした後、再度[テンプレート保存]をクリックすると、テンプレートを登録することが可能です。



また、信頼済みサイトへの設定を行わない場合、ステータスバーにエラーメッセージが表示されません。



### どんなときに起こるの？

以下の場合に、許可を促すメッセージが表示されます。

- ▶ 取引入力画面で[テンプレート保存]をクリックしたとき

以下の場合に、ステータスバーにエラーメッセージが表示されません。

- ▶ 各入力画面で入力した値に誤りがあるとき

## 3.1 信頼済みサイトの設定

信頼済みサイトの設定を行います。

### 1 設定しよう

#### 1 メニューの選択

(1) インターネットブラウザを開き、右上の[ツール]をクリックします。



→ 配下のメニューが表示されます。

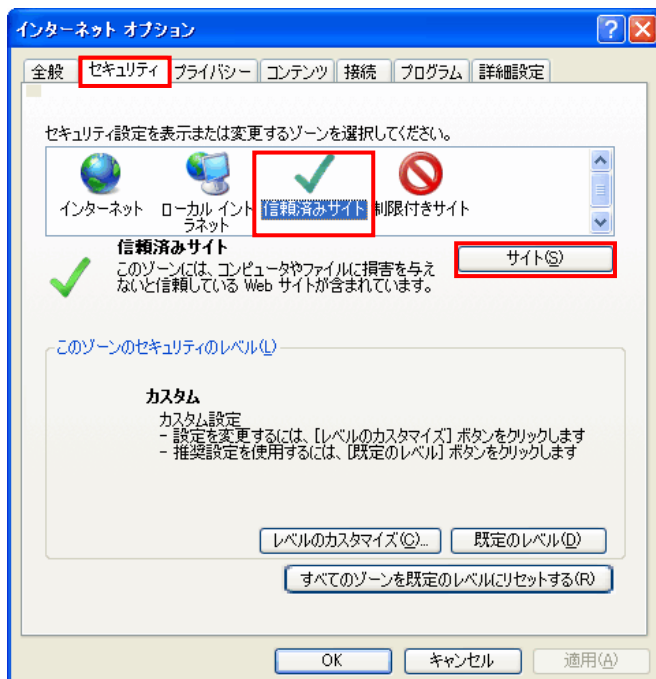
(2) 「インターネットオプション」を選択します。



→ インターネットオプションダイアログが表示されます。

## 2 信頼済みサイトダイアログの表示

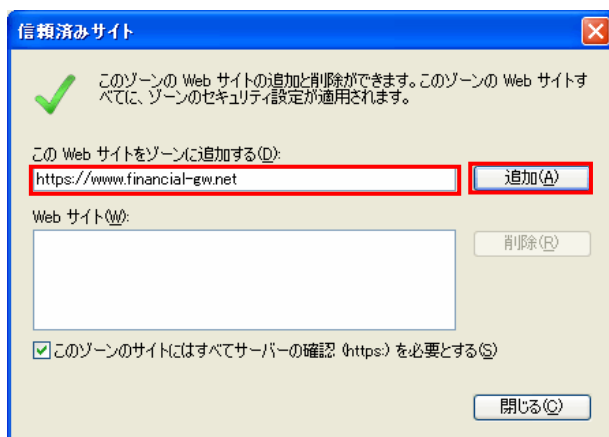
「セキュリティ」タブを選択した後、「信頼済みサイト」を選択し、[サイト]をクリックします。



→ 信頼済みサイトダイアログが表示されます。

## 3 信頼済みサイトの追加

「この Web サイトをゾーンに追加する」にじゅうろく外為WEBサービスの URL が入力されていることを確認し、[追加]をクリックします。



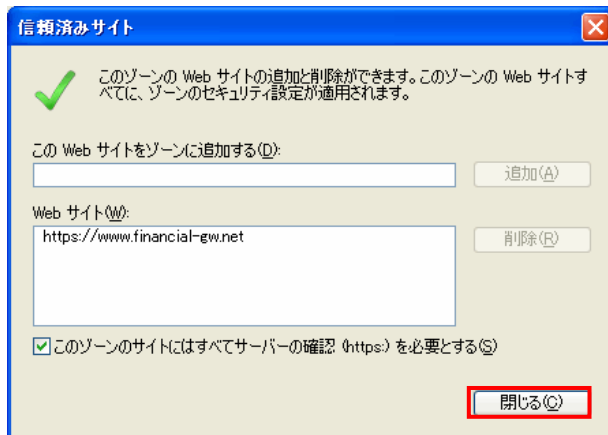
→ Web サイトに URL が表示されます。

### ヒント

- ・ じゅうろく外為WEBサービスの URL は以下のとおりです。  
「<https://www.financial-gw.net>」

## 4 信頼済みサイトダイアログの終了

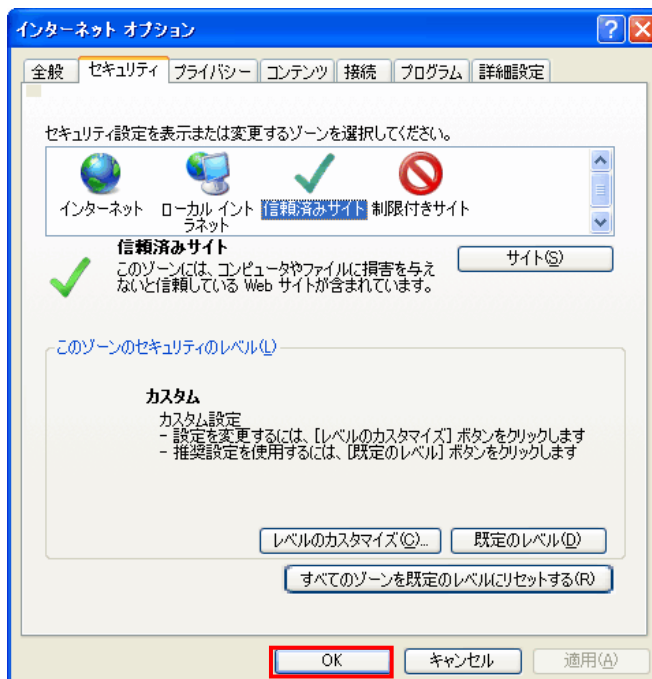
[閉じる]をクリックします。



→ 信頼済みサイトダイアログが閉じます。


## 5 インターネットオプションダイアログの終了

インターネットオプションダイアログで[OK]をクリックします。



→ インターネットオプションダイアログが閉じます。

以上で信頼済みサイトの設定は完了です。

 ヒント


- 信頼済みサイトにじゅうろく外為WEBサービスの URL を追加すると、じゅうろく外為WEBサービスのページを表示する際に以下のような警告ダイアログが表示される場合があります。  
[はい]をクリックすると、問題なくじゅうろく外為WEBサービスのページを表示できます。

**セキュリティの警告**

現在の Web ページは、信頼済みサイトの一覧にあるサイトを開こうとしています。  
許可しますか?

現在のサイト: <http://www>.

信頼済みサイト: <https://www.financial-gw.net>

 警告: これを許可すると、コンピュータをセキュリティの危険にさらす可能性があります。この Web ページを信頼できない場合は、[いいえ]を選択してください。

## 警告ダイアログが表示されないようにするには？

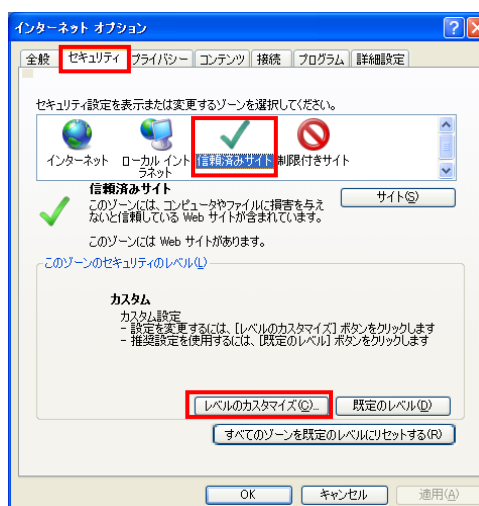
以下の手順を行うことにより、警告ダイアログが表示されなくなります。

ただし、信頼済みサイトに登録済みの他サイトを表示する場合も警告ダイアログが表示されなくなりますので、ご注意ください。

- (1) インターネットブラウザの[ツール]をクリックし、「インターネットオプション」を選択します。

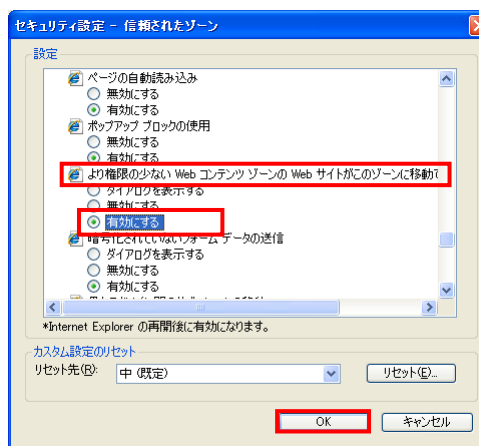


- (2) 「セキュリティ」タブを選択後、「信頼済みサイト」を選択し、[レベルのカスタマイズ]をクリックします。



- (3) 「より権限の少ない Web コンテンツゾーンの Web サイトがこのゾーンに移動できる」を“有効にする”※を選択します。

※インターネットブラウザの初期設定では、“有効にする”が選択されています。



- (4) [OK]をクリックします。

## 4

## 保護モード

じゅうろく外為WEBサービスでは、Microsoft Excel はインターネットブラウザで表示されます。

Microsoft Excel を別画面で表示させるためには、インターネットブラウザのインターネットオプションにあるセキュリティ設定において、「保護モード」に設定する必要があります。



## 注意

- ・ 保護モードを設定するとセキュリティが強化されるため、信頼済みサイトに登録している他システムに影響が出る可能性がありますのでご注意ください。



## 設定しないとどうなるの？

保護モードを設定しないと、Microsoft Excel が別画面で開かず、インターネットブラウザと同一画面で表示されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	受付番号	受付日	信用状番号	発行希望	お客様整理	通知方法	金融機関	金融機関名	支店コード	支店名(力)	顧客番号	ご依頼人名	ご依頼人住
2	LCOOPEN2C	#####	#####			FULL CAB	9876	エーエスピ	1	ホンテン	9.88E+08	ABC TRAC1-1-1	XYZXYZ
3													
4													
5													
6													



## どんなときに起こるの？

- CSV ファイルを開いたとき

## 4.1 保護モードの設定

保護モードの設定を行います。



### 設定しよう

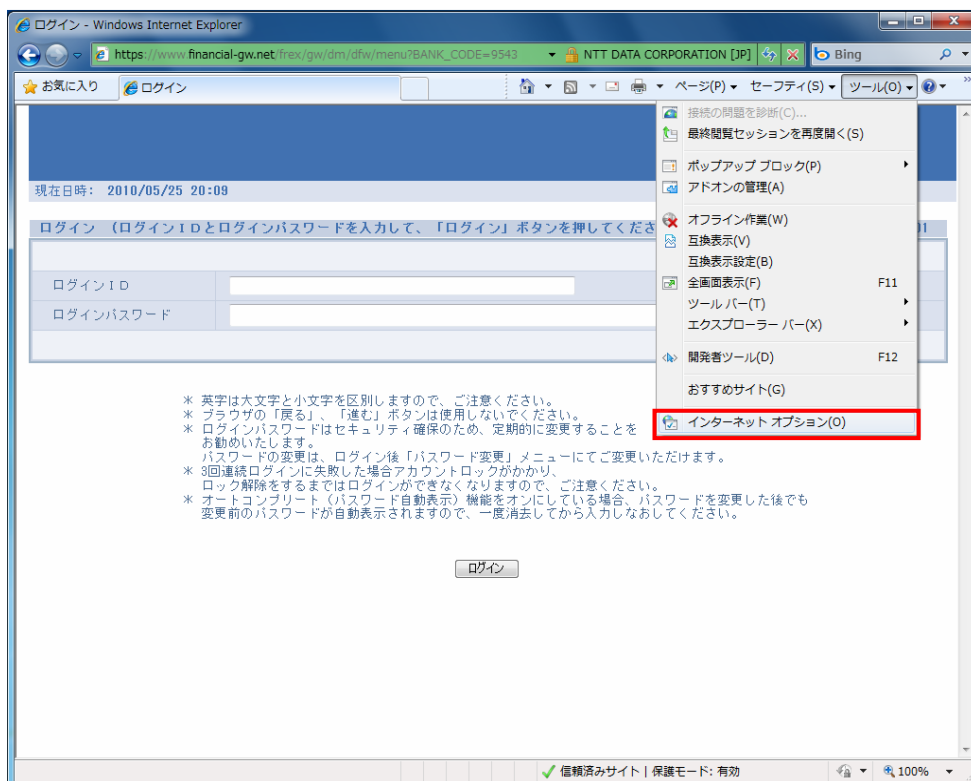
#### 1 メニューの選択

(1) インターネットブラウザを開き、右上の[ツール]をクリックします。



→ 配下のメニューが表示されます。

(2)「インターネットオプション」を選択します。

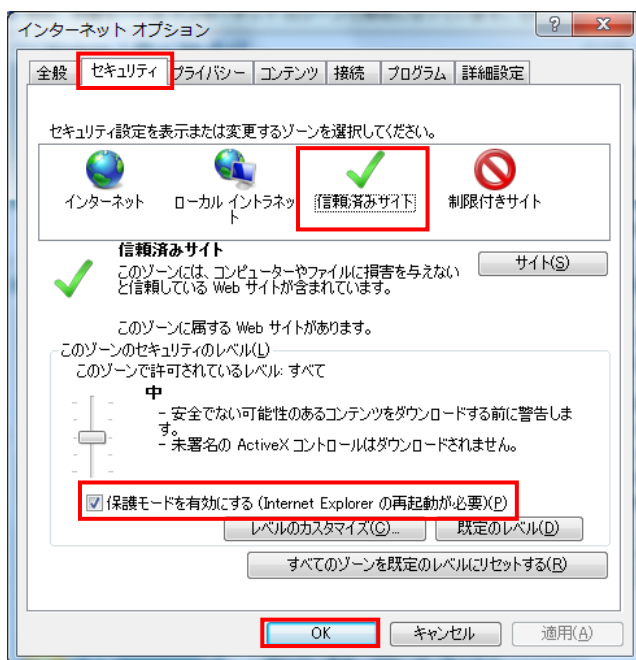


→ インターネットオプションダイアログが表示されます。

## 2 保護モードの設定

(1)「セキュリティ」タブを選択した後、「信頼済みサイト」を選択し、「保護モードを有効にする」をチェックします。

(2) [OK]をクリックします。



→ 保護モードの設定が反映されます。

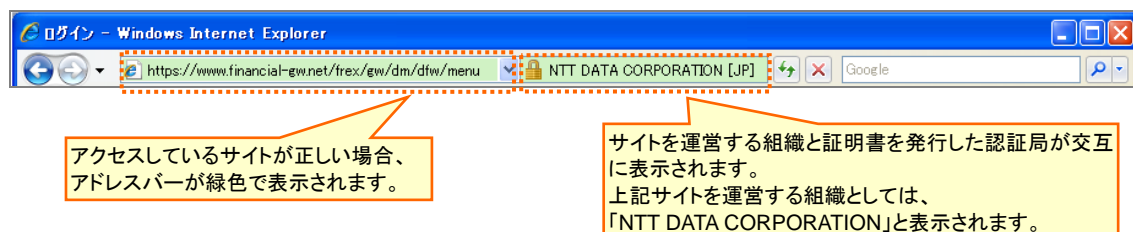
以上で保護モードの設定は完了です。

## 5

## EV SSL 証明書

アクセス先が正しいサイトであることをご確認いただくため、EV SSL 証明書を利用します。(アクセスしているサイトが正しい場合、アドレスバーが緑色で表示されます)

IE 7、8、9 の場合、EV SSL 証明書を利用しているサイトが正しいサイトであることを表示するための機能を有しています。



### ? EV SSL 証明書とは？

EV SSL 証明書は、Web サイトの認証と通信の暗号化に用いられる SSL 証明書のうち、身元の確認などに一定の基準を設け、従来よりも厳格な審査を経て発行された証明書のことです。

SSL は、インターネット上での機密情報の保護のための暗号化機能と、WEB サイトの運営者を認証するための認証機能の 2 つの機能を持っています。しかし、サイトの運営者の実在性を認証する基準が認証局によって異なっていることやエンドユーザー側が容易に確認できる方法がないという問題点がありました。

これらの問題点と SSL を利用したフィッシング詐欺等の対策を実現するために、米国の CA/Browser Forum にてより厳格で統一された審査基準に基づくガイドラインが策定されました。このガイドラインに基づいて審査をクリアした企業だけに発行するようにしたのが、「EV SSL 証明書」です



### 設定しないとどうなるの？

EV SSL 証明書機能を有効にしない(設定しない)場合、アドレスバーは常に白色で表示され、アクセス先が正しいサイトであることをご確認することができません。(万が一、偽物のサイトにアクセスした場合に確認することができません)

### 💡 ヒント

- ・ EV SSL 証明書機能を有効にしなくても(設定しなくても)、従来通りじゅうろく外為WEBサービスをご利用できます。



## どんなときに起こるの？

- ▶ じゅうろく外 為WEBサービスにアクセスしたとき



### 注意

- ・ IE6 をご利用の場合、EV SSL 証明書の表示機能はサポートされていないため、利用できません。

## 5.1 事前設定(Windows XPのみ)

Windows XP をご利用の場合、EV SSL 証明書の表示機能を有効にするためには、「ルート証明書の更新プログラム」をインストールする必要があります。

### 設定しよう

#### 1 Microsoft Update サイトの起動

Windows の左下にある[スタート]をクリックし、「すべてのプログラム」→「Windows Update」を選択します。

→ Microsoft Update サイトが起動されます。



#### ヒント

- ・ インターネットブラウザの「ツール」→「Windows Update」を選択しても Microsoft Update サイトを起動することができます。

#### 2 更新プログラムの適用方法の選択

[カスタム]をクリックします。

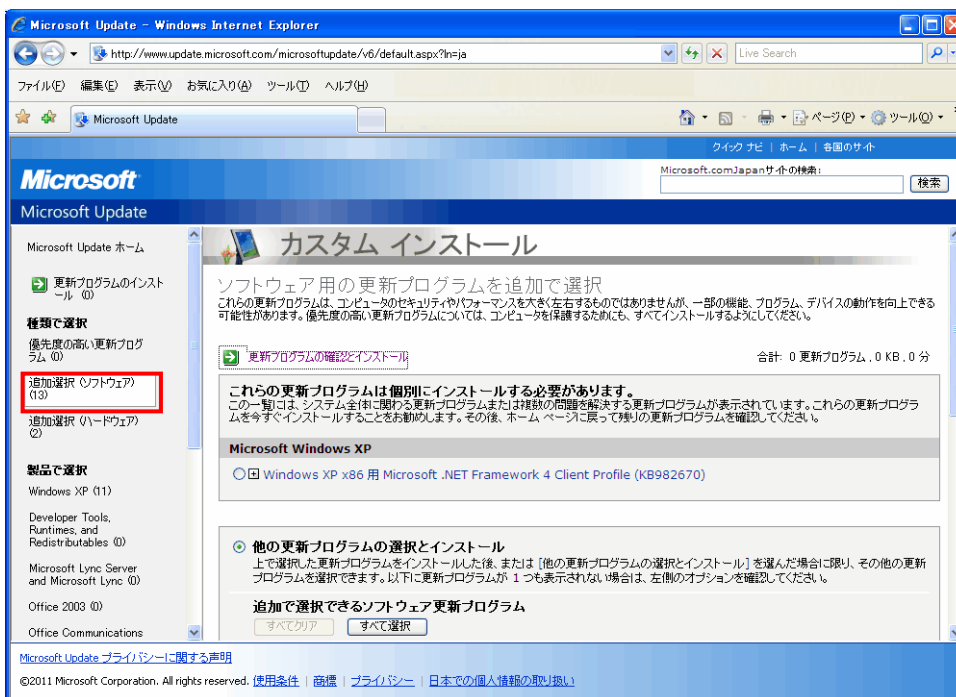


The screenshot shows the Microsoft Update website interface. The browser title is "Microsoft Update - Windows Internet Explorer". The address bar shows "http://www.update.microsoft.com/microsoftupdate/v6/default.aspx?h=ja". The page content includes a navigation menu on the left with options like "更新履歴の表示" and "設定の変更". The main content area has a heading "ようこそ Microsoft Updateへ" and a section "コンピュータを最新の状態に". Under this section, there are three buttons: "高速" (High speed), "カスタム" (Custom), and "自動更新" (Automatic updates). The "カスタム" button is highlighted with a red rectangular box. Below the buttons, there is a warning message: "お客様のプライバシーを侵害することはありません。更新プログラムの有無を確認する際は、お使いのプログラムに該当する更新プログラムを調査するうえで必要に、コンピュータに関する基本的な情報だけが収集されます。個人を特定するような情報が収集されることはありません。詳細については、プライバシーに関する声明を参照してください。"

→ Microsoft Update サイトが起動されます。

### 3 更新プログラムの選択画面の表示

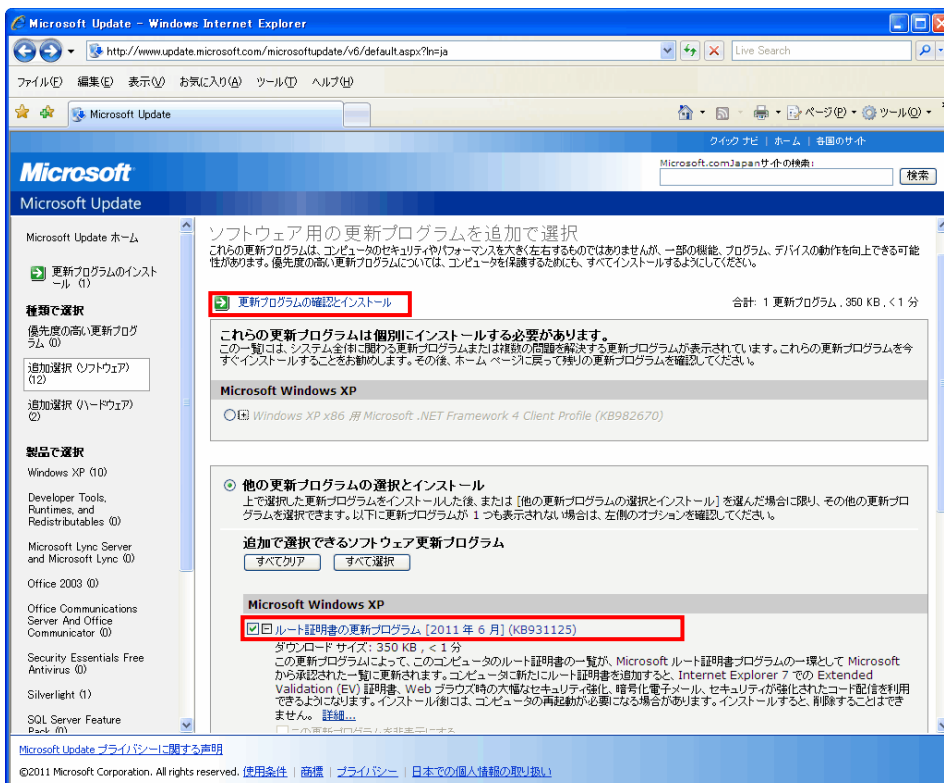
「追加選択 (ソフトウェア)」を選択します。



➔ 更新プログラムの選択画面が表示されます。

### 4 更新プログラムの選択

“ルート証明書の更新プログラム”をチェックし、「更新プログラムの確認とインストール」を選択します。



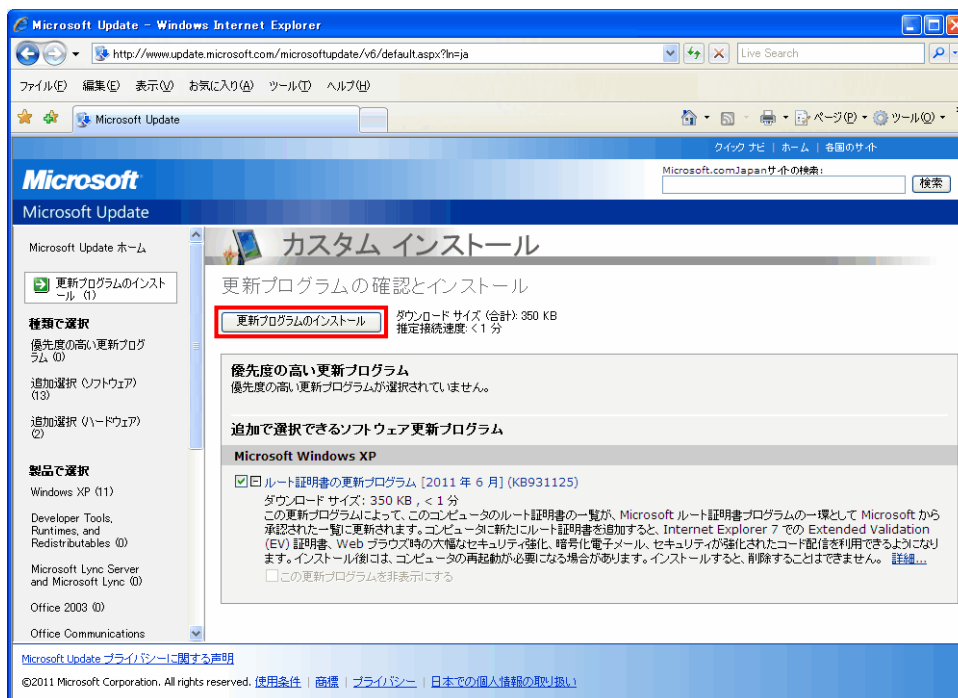
➔ 更新プログラムの確認とインストール画面が表示されます。

**ヒント**

- ・更新プログラムの選択画面に「ルート証明書の更新プログラム」が表示されない場合は、最新のルート証明書がインストールされていますので、手順 5 の操作は不要です。

## 5 更新プログラムのインストール

[更新プログラムのインストール]をクリックします。



➔ 最新のルート証明書がインストールされます。

以上で事前設定は完了です。

## 5.2 EV SSL証明書の設定

### 5.2.1 IE 7 の場合

IE 7 をご利用の場合、EV SSL 証明書の表示機能を有効にするためには、「自動フィッシング詐欺検出機能」を有効にする必要があります。



ヒント

- ・自動フィッシング詐欺検出機能は Microsoft 社の推奨設定です。



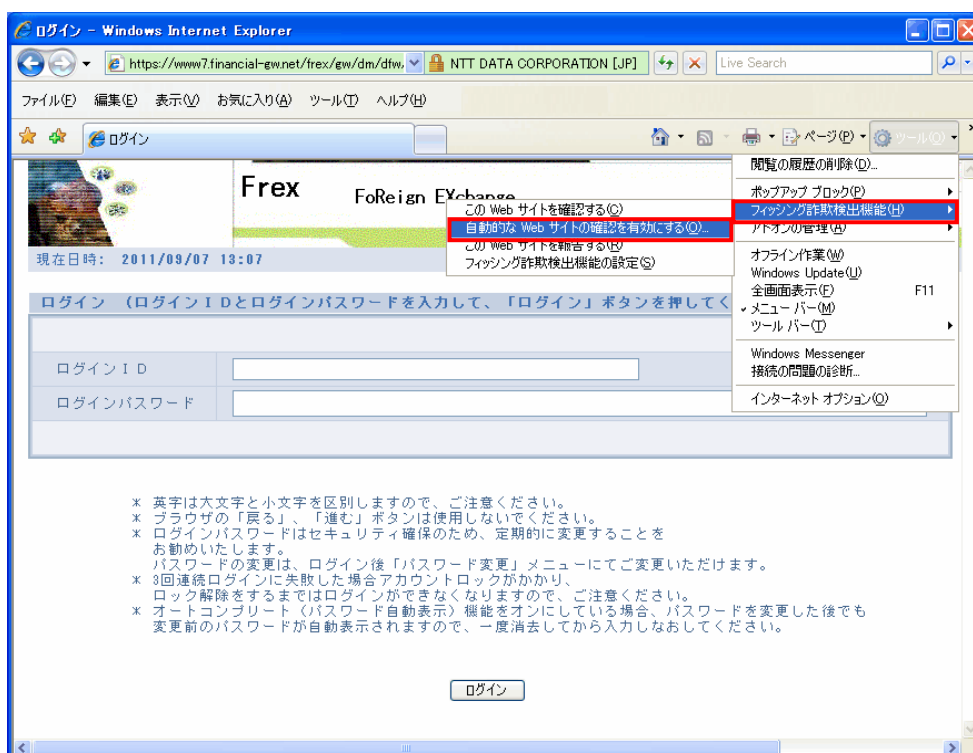
設定しよう

#### 1 メニューの選択

(1) インターネットブラウザを開き、右上の[ツール]をクリックします。

→ 配下のメニューが表示されます。

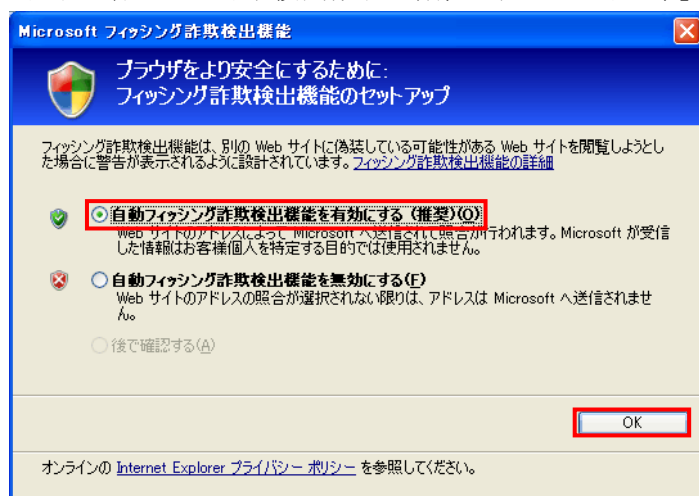
(2) 「フィッシング詐欺検出機能」→「自動的な Web サイトの確認を有効にする」を選択します。



→ フィッシング詐欺検出機能ダイアログが表示されます。

## 2 機能の設定

“自動フィッシング詐欺検出機能を有効にする”を選択し、[OK]をクリックします。



→ フィッシング詐欺検出機能が有効になります。

以上で EV SSL 証明書の設定は完了です。

## 5.2.2 IE 8 の場合

IE 8 をご利用の場合、EV SSL 証明書の表示機能を有効にするためには、「SmartScreen フィルター機能」を有効にする必要があります。



ヒント

- SmartScreen フィルター機能は Microsoft 社の推奨設定です。



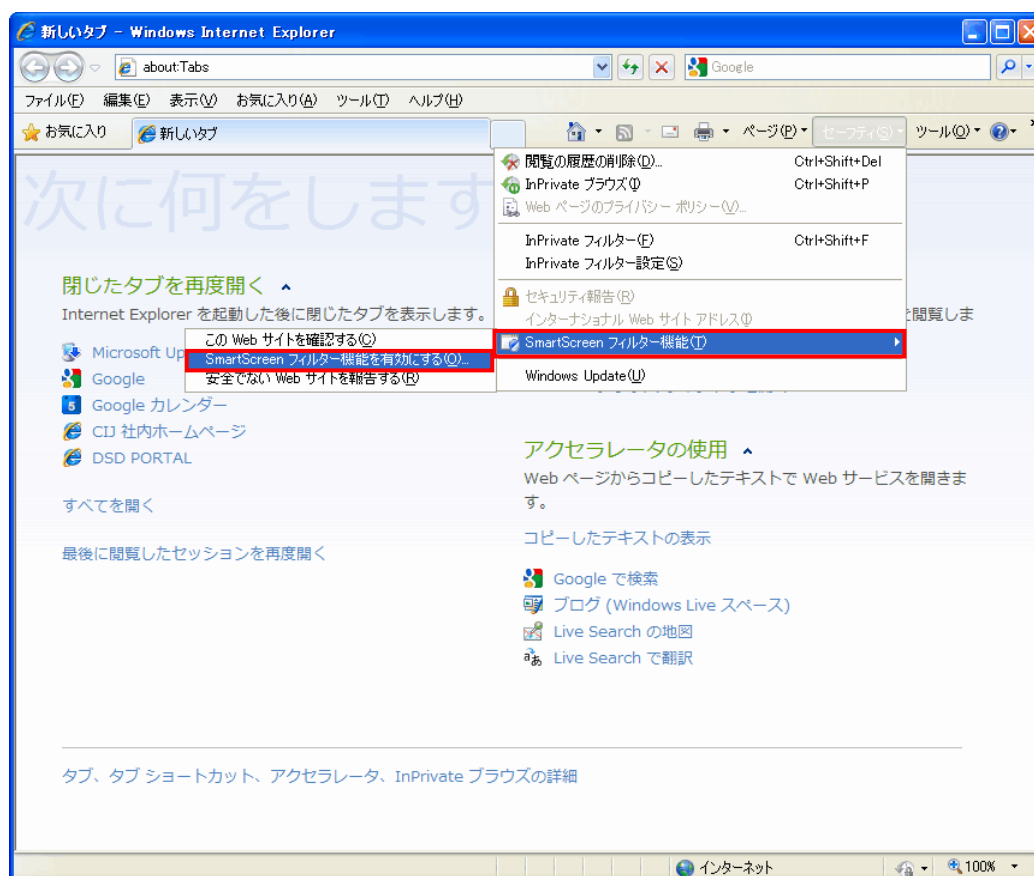
設定しよう

### 1 メニューの選択

(1) インターネットブラウザを開き、右上の[セーフティ]をクリックします。

→ 配下のメニューが表示されます。

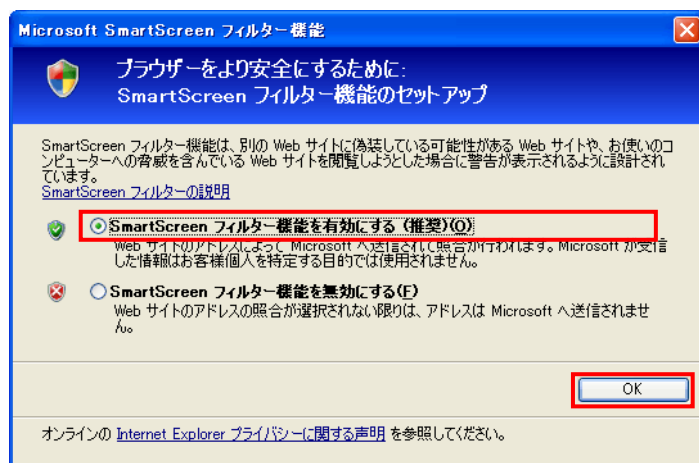
(2) 「SmartScreen フィルター機能」→「SmartScreen フィルター機能を有効にする」を選択します。



→ SmartScreen フィルター機能ダイアログが表示されます。

## 2 機能の設定

“SmartScreen フィルター機能を有効にする”を選択し、[OK]をクリックします。



→ SmartScreen フィルター機能が有効になります。

以上で EV SSL 証明書の設定は完了です。

